

Aichi Soseido Press

2013.01

日本相生道協会愛知県支部から皆様に、旬のニュースをお届けします。

第七回 相生道愛知県大会

2012年12月1日、露橋スポーツセンターにて、第七回 相生道愛知県大会が開催されました。当日の様子を、今回と次回の二号にわたってお送りします。



開催場所は名古屋市、露橋スポーツセンター柔道場。愛知県内からは赤池道場や南山大学相生道部、八雲会が参加。そして関東からも、多摩美術大学相生道部から約30名の参加者が集まりました。

法形競技・多敵競技・立合競技の三種類を実施したほか、天武無鬮流の棒術演武も披露されました。



まず午前は、開会式に続いて10時半から「法形競技」の予選が行われました。法形とは相生道の「形」ですが、一挙手一投足まで定めたものではありません。攻防の順番のみを定め、いかに相手の技を引き出し、自らの技を掛けるかを競います。二人組による採点競技で、拳足にサポーターを付けて攻防します。



昼食休憩を挟んで13時半から行われた「多敵競技」は、予め考案した四対一の攻防を披露して競うものです。



次号では引き続き、大会の様子をお伝えします。

発行：日本相生道協会愛知県支部 (<http://www.soseido.org>) 文責：杉山元康